

3年ぶりのはとやま祭

新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていた「はとやま祭」が、感染防止対策を行い、3年ぶりに開催となりました。

当日は出店のほか、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）による模擬衝突体験や、鳩山消防団等による模擬地震体験のほか、特設ステージでは、健康体操やダンス、太鼓演奏、園児によるパフォーマンスなどたくさんの催しものが行われ、町民の皆さんの笑顔あふれるイベントとなりました。



40周年記念 だけど43回目

はとやま祭は、令和4年度で第43回となりました。町制が施行される前から続く、歴史のあるお祭です。

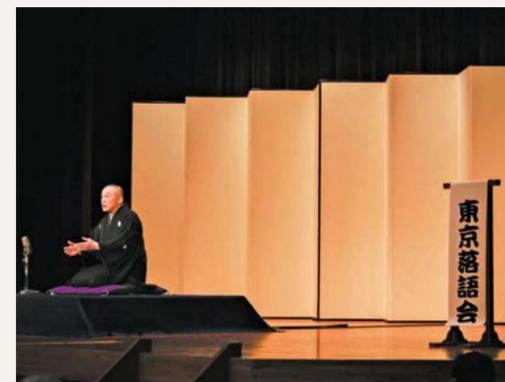
町制施行40周年記念の今年は、コロナ禍ではありましたが、町内外から約3,000人の来場者があり、大いに盛り上がりを見せました。



笑いで祝う 40周年

令和4年6月10日、鳩山町とNHKさいたま放送局の主催でNHK公開収録「東京落語会」を実施しました。

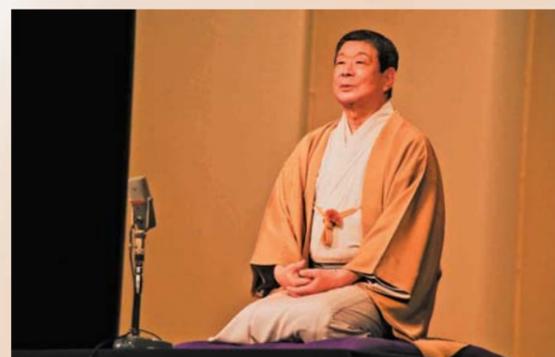
当代一流の落語家、柳家さん喬師匠、三遊亭笑遊師匠、桂米福師匠の軽妙な話芸で、文化会館はたくさんの笑顔と笑い声に包まれました。



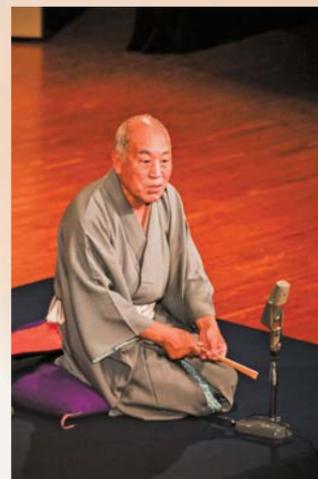
たくさんのご来場 ありがとうございます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の人数を制限したうえでの開催でしたが、当日は、町内外から142人の皆さまにご来場いただきました。

また、収録した「東京落語会」の様子は、後日7月～8月にかけて「日本の話芸（Eテレ）」で放映されました。



▲柳家 さん喬 師匠 「千両蜜柑」



▲三遊亭 笑遊 師匠 「野ざらじ」



▲桂 米福 師匠 「佃祭り」